



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月5日

上場会社名 ユシロ化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5013 URL <https://www.yushiro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大胡 栄一

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部 財務部長 (氏名) 横井 宏紀

TEL 03-3750-6793

四半期報告書提出予定日 2021年11月8日

配当支払開始予定日

2021年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	18,146	27.7	720	—	1,063	—	789	—
2021年3月期第2四半期	14,209	△24.3	△72	—	80	△94.6	29	△97.3

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 2,408百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 △444百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	58.05	—
2021年3月期第2四半期	2.16	—

2022年3月期第2四半期の経常利益と親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同四半期増減率は、1,000%以上となるため「—」と記載しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	50,581	34,178	63.2	2,347.47
2021年3月期	48,369	32,170	62.3	2,217.95

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 31,948百万円 2021年3月期 30,133百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	15.00	—	23.00	38.00
2022年3月期	—	20.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	28.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	13.7	1,800	64.3	2,100	38.4	1,300	32.9	95.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	13,900,065 株	2021年3月期	13,900,065 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2022年3月期2Q	290,362 株	2021年3月期	314,118 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期2Q	13,592,728 株	2021年3月期2Q	13,579,732 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、地域によってはロックダウン等の外出抑制が続いていたものの、ワクチンの普及によって徐々にではありますが経済活動の正常化に向けた兆しが見えてまいりました。また日本経済においても、新型コロナウイルス感染症の拡大は落ち着きつつあり、行動制限緩和後の個人消費は本格的な回復に向かうと思われれます。

このような環境下、主要顧客である自動車メーカーでの半導体不足の影響はありましたが、自動車部品メーカーの順調な回復により、売上高は前年同期比27.7%増の18,146百万円となりました。また、営業利益は前年同期比793百万円増の720百万円、経常利益は前年同期比982百万円増の1,063百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比759百万円増の789百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

①セグメント別売上高

		前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		6,495	45.7	7,965	43.9	1,470	22.6
海外	南北アメリカ	4,412	31.1	5,531	30.5	1,119	25.4
	中国	1,780	12.5	2,418	13.3	637	35.8
	東南アジア/インド	1,521	10.7	2,231	12.3	709	46.6
	海外合計	7,713	54.3	10,180	56.1	2,467	32.0
日本+海外合計		14,209	100.0	18,146	100.0	3,937	27.7

②セグメント別営業利益又は損失(△)

		前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		△215	—	19	2.1	234	—
海外	南北アメリカ	128	—	392	42.8	264	205.8
	中国	87	—	213	23.3	126	144.1
	東南アジア/インド	117	—	291	31.8	174	148.2
	海外合計	333	—	897	97.9	564	169.3
日本+海外合計 (調整額除く)		117	—	916	100.0	799	678.9

③セグメント別概況

(日本)

半導体不足の影響が若干ありましたが自動車生産台数の回復により増収となりました。営業利益も増収効果により増益となりました。

(南北アメリカ)

稼働率の戻りが遅い顧客が一部あったものの、売上高・営業利益とも順調に回復致しました。

(中国)

自動車生産は順調に回復しており、売上高・営業利益ともに2019年実績を超えるレベルまでに拡大致しました。

(東南アジア/インド)

各国が実施した活動制限措置の影響はありましたが、自動車部品メーカーの回復で増収・増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、50,581百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,211百万円増加しました。主な要因は、投資その他の資産の「その他」が169百万円減少したものの、「原材料及び貯蔵品」が728百万円、「投資有価証券」が599百万円、「受取手形及び売掛金」が406百万円、流動資産の「その他」が295百万円、「商品及び製品」が171百万円増加したことによります。

負債は、16,403百万円となり、前連結会計年度末に比べ203百万円増加しました。主な要因は、「長期借入金」が352百万円、「未払金」が210百万円減少したものの、「支払手形及び買掛金」が775百万円増加したことによります。

純資産は、34,178百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,007百万円増加しました。主な要因は、「為替換算調整勘定」が1,199百万円変動、「利益剰余金」が476百万円増加したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は8,060百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により589百万円の収入超過となりました。これは、棚卸資産の増加額709百万円、法人税等の支払額234百万円等がありましたが、税金等調整前四半期純利益1,142百万円、減価償却費499百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により63百万円の収入超過となりました。これは、有形固定資産の取得による支出160百万円等がありましたが、関係会社の清算による収入192百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により982百万円の支出超過となりました。これは、長期借入金の返済による支出444百万円、配当金の支払額312百万円、短期借入金の減少額195百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、2021年5月13日発表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,077	8,070
受取手形及び売掛金	6,723	7,130
商品及び製品	1,650	1,822
原材料及び貯蔵品	2,421	3,150
その他	471	766
貸倒引当金	△14	△12
流動資産合計	19,330	20,928
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,308	4,337
機械装置及び運搬具（純額）	1,391	1,416
工具、器具及び備品（純額）	378	371
土地	5,137	5,117
リース資産（純額）	87	91
建設仮勘定	22	42
有形固定資産合計	11,325	11,377
無形固定資産		
のれん	1,871	1,906
顧客関連資産	1,754	1,821
技術資産	567	582
商標権	497	510
その他	510	505
無形固定資産合計	5,201	5,325
投資その他の資産		
投資有価証券	10,784	11,384
保険積立金	644	632
長期預金	11	24
退職給付に係る資産	154	154
繰延税金資産	92	96
その他	839	669
貸倒引当金	△15	△12
投資その他の資産合計	12,511	12,949
固定資産合計	29,039	29,653
資産合計	48,369	50,581

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,554	4,330
短期借入金	3,411	3,235
リース債務	31	28
未払金	1,005	794
未払消費税等	105	39
未払法人税等	117	146
賞与引当金	396	449
役員賞与引当金	9	8
その他	1,126	1,281
流動負債合計	9,758	10,313
固定負債		
長期借入金	3,428	3,075
リース債務	63	72
繰延税金負債	1,316	1,394
役員退職慰労引当金	146	149
退職給付に係る負債	1,234	1,174
長期預り保証金	182	184
資産除去債務	20	20
その他	49	19
固定負債合計	6,441	6,089
負債合計	16,199	16,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	4,014	3,988
利益剰余金	24,835	25,312
自己株式	△415	△384
株主資本合計	32,684	33,166
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,649	1,776
為替換算調整勘定	△4,129	△2,930
退職給付に係る調整累計額	△70	△63
その他の包括利益累計額合計	△2,550	△1,217
非支配株主持分	2,037	2,229
純資産合計	32,170	34,178
負債純資産合計	48,369	50,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	14,209	18,146
売上原価	9,906	12,706
売上総利益	4,303	5,440
販売費及び一般管理費	4,375	4,719
営業利益又は営業損失(△)	△72	720
営業外収益		
受取利息	16	88
受取配当金	45	48
持分法による投資利益	97	182
その他	59	92
営業外収益合計	218	411
営業外費用		
支払利息	23	26
保険解約損	—	21
為替差損	20	7
その他	19	13
営業外費用合計	64	69
経常利益	80	1,063
特別利益		
投資有価証券売却益	41	—
固定資産売却益	—	56
関係会社出資金清算益	—	22
特別利益合計	41	79
税金等調整前四半期純利益	122	1,142
法人税等	25	218
四半期純利益	96	924
非支配株主に帰属する四半期純利益	67	135
親会社株主に帰属する四半期純利益	29	789

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期純利益	96	924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	572	127
為替換算調整勘定	△871	1,101
退職給付に係る調整額	6	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△247	249
その他の包括利益合計	△540	1,483
四半期包括利益	△444	2,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△448	2,122
非支配株主に係る四半期包括利益	4	285

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	122	1,142
減価償却費	491	499
のれん償却額	91	91
持分法による投資損益(△は益)	△97	△182
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	13	52
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△47	△51
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△11	3
受取利息及び受取配当金	△61	△136
支払利息	23	26
売上債権の増減額(△は増加)	949	△210
棚卸資産の増減額(△は増加)	△186	△709
仕入債務の増減額(△は減少)	△757	665
その他	△272	△422
小計	260	761
利息及び配当金の受取額	83	93
利息の支払額	△27	△30
法人税等の支払額	△213	△234
営業活動によるキャッシュ・フロー	103	589
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△20
定期預金の払戻による収入	10	10
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	194	—
関係会社の清算による収入	—	192
有形固定資産の取得による支出	△391	△160
有形固定資産の売却による収入	1	89
無形固定資産の取得による支出	△51	△14
その他	△15	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△267	63
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,746	△195
長期借入れによる収入	—	100
長期借入金の返済による支出	△425	△444
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△380	△312
リース債務の返済による支出	△15	△15
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	925	△982
現金及び現金同等物に係る換算差額	△284	322
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	477	△7
現金及び現金同等物の期首残高	7,150	8,067
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△6	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,620	8,060

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症に対し、今後の広がり方や収束時期を予測することは困難であります。当社グループでは、外部の情報源に基づく情報等を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の影響が2022年3月期の一定期間にわたり継続すると仮定し、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損会計等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,495	4,412	1,780	1,521	14,209	—	14,209
セグメント間の内部 売上高又は振替高	282	1	—	39	323	△323	—
計	6,777	4,413	1,780	1,560	14,532	△323	14,209
セグメント利益又は 損失(△)	△215	128	87	117	117	△190	△72

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△190百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が△2百万円、クオリケム社買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△187百万円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
金属加工油剤関連事業	7,100	5,531	2,418	2,231	17,281	—	17,281
ビルメンテナンス 関連事業	865	—	—	—	865	—	865
顧客との契約から 生じる収益	7,965	5,531	2,418	2,231	18,146	—	18,146
外部顧客への売上高	7,965	5,531	2,418	2,231	18,146	—	18,146
セグメント間の内部 売上高又は振替高	416	7	—	37	462	△462	—
計	8,382	5,539	2,418	2,268	18,609	△462	18,146
セグメント利益	19	392	213	291	916	△196	720

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益の調整額△196百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が△8百万円、クオリケム社買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△186百万円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

「会計方針の変更」に記載のとおり、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。これによる影響額はありません。